

2024年度前期 開講学科別集計結果表

常葉大学

開講学科	健康栄養学科	履修者数	1,694
------	--------	------	-------

回答者数	1,080
------	-------

学年 マーク	回答者数／構成比 (%)				
	1年	2年	3年	4年	無効回答
	163	416	464	37	0
	15.1	38.5	43.0	3.4	0.0

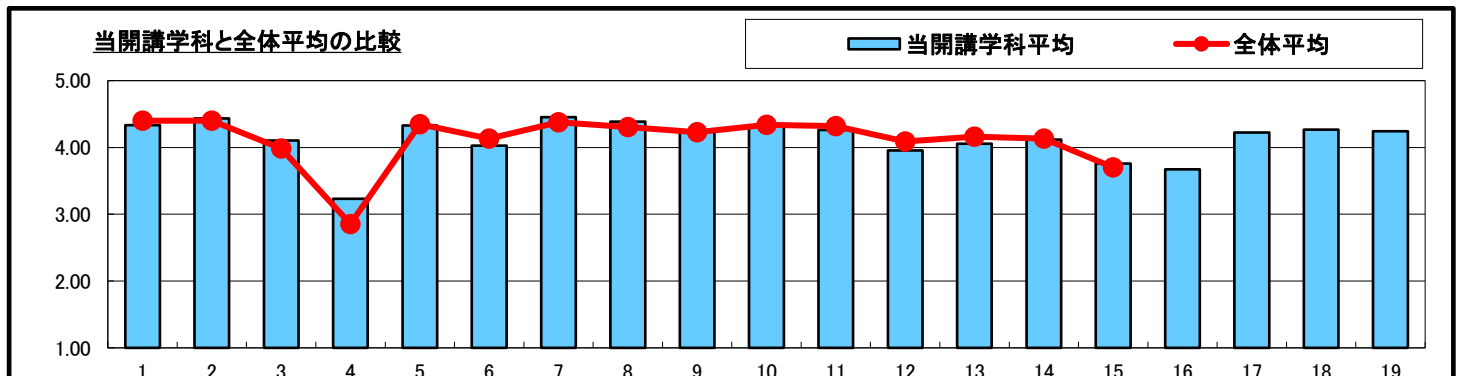
No.	設問文	平均	回答者数／構成比 (%)					有効 回答	無効 回答
			5	4	3	2	1		
			とても そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない		

▼全学部共通の質問項目									
1	学修環境（プロジェクタ・音響・空調・照明・静粛性）は良好であった	4.33	541	419	72	34	14	1,080	0
			50.1	38.8	6.7	3.1	1.3		
2	クラスサイズ（受講者数）やグループサイズは適切であった	4.44	598	385	73	17	7	1,080	0
			55.4	35.6	6.8	1.6	0.6		
3	周りの学生の熱意が感じられた（熱心に授業に参加していた）	4.10	409	449	160	46	15	1,079	1
			37.9	41.6	14.8	4.3	1.4		

▼学部レベルの質問項目									
4	この授業に対する授業時間外学修にどの程度の時間を費やしましたか（1回の授業の前後）	3.23	2時間以上	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くして いない	1,076	4
			195	239	346	211	85		
			18.1	22.2	32.2	19.6	7.9		
5	シラバスに則した内容の授業が行われていた	4.33	521	423	108	15	10	1,077	3
			48.4	39.3	10.0	1.4	0.9		
6	この科目の難易度は適切であった	4.03	420	393	160	78	25	1,076	4
			39.0	36.5	14.9	7.2	2.3		
7	この科目は学部・学科の学びを深める上で有益であった	4.46	626	348	76	15	10	1,075	5
			58.2	32.4	7.1	1.4	0.9		
8	この科目は自らのキャリア形成や将来を考える上で役立った	4.39	592	361	89	26	11	1,079	1
			54.9	33.5	8.2	2.4	1.0		
9	【対面授業の場合】 この科目は対面で受講することが適切であった 【ポータルサイト等を活用した授業（オンライン授業）の場合】 この科目はオンラインで受講することが適切であった	4.24	546	331	135	35	29	1,076	4
			50.7	30.8	12.5	3.3	2.7		

▼教員個人レベルの質問項目									
10	教員の話し方は明瞭で聴き取りやすかった	4.32	574	356	86	39	23	1,078	2
			53.2	33.0	8.0	3.6	2.1		
11	板書、スライド、配布資料などは適切であった	4.26	563	347	78	61	27	1,076	4
			52.3	32.2	7.2	5.7	2.5		
12	学生に質問や意見を求める、発表の機会を設けるなど授業への参加を促していた	3.96	424	335	209	71	40	1,079	1
			39.3	31.0	19.4	6.6	3.7		
13	学生の反応や理解を確認しながら授業を展開していた	4.05	442	391	141	70	34	1,078	2
			41.0	36.3	13.1	6.5	3.2		
14	必要に応じて学生の受講態度への注意を適切に行っていた	4.12	464	367	180	42	24	1,077	3
			43.1	34.1	16.7	3.9	2.2		
15	この授業のシラバスを読みましたか	3.76	十分に 読んだ	よく読んだ	どちらとも いえない	ほとんど 読まなかった	全く読んで いない	1,078	2
			258	467	216	107	30		
			23.9	43.3	20.0	9.9	2.8		

▼学科設問									
16	この授業の到達目標に対して、自分の到達度はどれくらいですか	3.67	151	530	310	62	23	1,076	4
			14.0	49.3	28.8	5.8	2.1		
17	（健康栄養学科専門科目のみ）この科目を受講して、国家試験勉強への意欲が向上した	4.22	493	408	116	42	18	1,077	3
			45.8	37.9	10.8	3.9	1.7		
18	（健康栄養学科専門科目のみ）この科目を受講して、国家試験問題への理解が深まった	4.27	505	423	99	33	17	1,077	3
			46.9	39.3	9.2	3.1	1.6		
19	（健康栄養学科専門科目のみ）この科目を受講して、栄養や食に関する社会的問題との関連性を考えることができた	4.24	506	409	103	34	24	1,076	4
			47.0	38.0	9.6	3.2	2.2		



2024 年度前期授業アンケート 学科別集計結果表に対する講評

学科／課程	健康栄養学科
講評者	清水正則

設問	講評
設問 1～3 「全学部共通の質問項目」について	「学修環境」・「クラスサイズ」について良好・適切であったと考える学生はそれぞれ 88.9%・91.0%と高い評価が得られた。引き続きクラスサイズを含み学修環境の維持に努めたい。また、「周りの学生の熱意」を感じた学生は 79.5%であった。おおむね良好と考えるが、より受講生が授業への参加意欲をもてるような環境づくりに努めたい。また、学生自身も学修意欲を高めるように頑張ってもらいたい。
設問 4～9 「学部レベルの質問項目」について	授業内容について「シラバスに則っているか」「有益度」「キャリア形成等への役立ち」「講義形式の適切さ」について良好・適切であったと考える学生は、それぞれ 87.8%・90.6%・88.4%・81.5%と高い評価が得られた。学生は授業内容の重要性を理解し受講していると捉えることができる。引き続き継続できるように努めたい。しかし、「授業の難易度」については適切であったと考える学生は 75.5%であった。健康栄養学科は資格取得を目指す学科であるため授業内容はすべて必要不可欠な知識であるため、授業時間外学修の有無が授業の理解度につながる。「授業時間外学修時間」を 1 時間以上行っている学生は、40.3%と低いという結果であった。教員は、難易度を下げず授業内容の理解が進むように努めるが、学生も授業時間外学修を増やす努力をし、自らの能力を高めることを希望する。
設問 10～15 「教員個人レベルの質問項目」について	各授業における「明瞭な話し方」「板書・スライド・配布資料の適切さ」「授業参加の機会」「学生に対応した授業展開」「学生の受講態度への注意」について良好・適切であったと考える学生は、それぞれ 86.2%・84.5%・70.3%・77.3%・77.2%と 7 割以上の人が満足していると考えられる。これは、教員個人の教育能力が認められたと評価できる。今後は、適切でないと感じた学生の意見を真摯に受け止め、授業改善に努めたい。また、「シラバスを読んだか」という質問に対し、読んだという学生は 67.2%であり、読んでいない学生が多くいることが分かった。シラバスを読むことは、授業内容の理解と興味を深め、学習意欲の向上につながると考えるため、授業受講までに確認することを徹底していき

	<p>い。そして、教員と学生の双方が意欲的に取り組める授業を目指したい。</p>
<p>設問 16～ 「学科設問」について (該当学科のみ)</p>	<p>設問 16: 到達度に関しては、設問 4 の学習時間の結果を考慮すると時間外学習が少なくても到達度が高いという結果となっている。難しい科目もあるが全体としてはバランスよく科目が配置できていると評価できる。教員としては、もう少し学習時間を多くすることによって学生の到達度の向上を望む。</p> <p>設問 17～18: 受講することによって、80%以上の学生が国家試験の勉強への意欲、試験問題への理解、が高まった、と回答している。現在、卒業生全体に対する合格率は、75～80%であることから関連性が伺える。しかし、少数ではあるが、勉強への意欲や理解向上を目指すことをあきらめてしまっている可能性が高いので学年間での結果を分析し対策をする必要があると考える。</p> <p>設問 19: 社会問題との関連性については、低学年ではあまり意識していないため学年間で異なる可能性があるが、もう少し関連性を伝えることができれば、もっと授業に興味を持てるようになり、到達度、意欲などが高められると期待できる。授業内で工夫していきたい。</p>